

# 臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

平成 24 年 12 月

A-12-25

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始致しますので、ご利用頂きたくご案内致します。

今後とも引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 平成 25 年 1 月 7 日 (月) ご依頼分より

◆ 新規項目

項目コード	21860	項目名	ステリペントール
検体量(保存方法)	EDTA 血漿 <sup>※1</sup> または血清 <sup>※2</sup> 各 0.3mL (凍結)	検査方法	LC-MS/MS 法
有効治療濃度	(設定なし) $\mu\text{g/mL}$	所要日数	4~7 日
特定薬剤治療管理料	470 点	主な商品名	ディアコミット <sup>®</sup>
備考	<p>■検体採取方法について</p> <p>※1: 採血管(容器番号 07:EDTA-2Na)にて採血後、転倒混和により攪拌。さらに遠心にて血球成分と血漿成分を分離後、血漿成分のみを提出用容器に移し、凍結の上でご提出下さい。</p> <p>※2: 血清での受託も可能ですが、分離剤入り採血管を使用しないで下さい。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。</p> <p>■特定薬剤治療管理料について</p> <p>【通知】より</p> <p>(1)特定薬剤治療管理料は、下記のものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月 1 回に限り算定する。</p> <p>イ. てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているもの。</p>		

### 【ステリペントール】

Dravet 症候群は乳児重症ミオクロニーてんかんとも呼ばれる乳児期に発症する代表的な難治てんかんです。発熱などの体温上昇に伴い、てんかん重積状態が頻発し、幼児期にはミオクロニー発作も出現します。幼児期早期までは発達は正常ですが、その後しだいに発達が退行し、重度の知的障害を呈するとされます。また、既存の抗てんかん薬では、けいれん発作が抑制されにくい重篤な疾患です。

ステリペントールは、脳の主要な抑制性神経伝達物質である  $\gamma$  アミノ酪酸(GABA)のシグナル伝達を増強することで、抗てんかん作用を発揮する薬剤です。また、本剤は、チトクローム P450 アイソザイムに対する阻害作用も有しており、これらにより代謝される併用薬の効果増強も報告されています。

本剤は、2007 年に欧州で Dravet 症候群の治療薬として承認され、国内でも今年クロバザム及びバルプロ酸ナトリウムで十分な効果が認められない Dravet 症候群患者における間代発作又は強直間代発作に対する併用薬として適用承認が得られました。

本剤は、代謝経路が複雑で、非線形性の薬物動態を示すため、投薬時の血中濃度管理が重要とされています。